



Odinstal

オーディンスタイル



19世紀初めに建てられた館と森、牧草地と葡萄畑合計約20haの地所を、1998年に現オーナーのトーマス・ヘンゼルが購入。2004年に醸造責任者兼経営責任者として、当時弱冠26歳でガイゼンハイム大学を卒業したばかりのアンドレアス・シューマンを抜擢。1990年代から前オーナーがピオロジックで栽培していた葡萄畑を、2006年にバイオダイナミクス農法に転換し、2008年にデメターの認証を取得した。堆肥もブレバートも自分で作っている。プファルツで最も標高の高い海拔350mの山の上の斜面にある約5haの葡萄畑は、雑色砂岩、貝殻石灰質、コイパーと玄武岩の区画に分かれている。栽培品種はリースリング、ヴァイスブルグンダー、オクセロワ、ジルヴァーナー、ゲヴェルトツラミーナーで、2008年からリースリング、2011年からジルヴァーナーの一部の区画で無剪定栽培を行っている。収量は約30hL/ha。標高が高く冷涼な気候なので収穫はプファルツの他の畑よりも約2週間遅い。醸造はステンレスタンクとパリック樽を使い、野生酵母で発酵。亜硫酸は無添加か、瓶詰前の一回のみ極少量を添加。味わいのバランスを見ながら房ごと発酵したり、あるいは压榨後の果皮を発酵中のマストに一定期間漬け込むなど、職人的なこだわりを感じさせる高品質で個性的なワインを醸造している。2021年からVDP.ドイツ高品質ワイン醸造所連盟のメンバー。2022年からリリースしているシュペートブルグンダー・パイノットPi:notは、ラシーヌの依頼でアンドレアスが始めたプロジェクト・ワイン。長年の親友シュテッフェン・ムグラがバイオダイナミック農法で栽培したシュペートブルグンダーを、アンドレアスがムグラのセラーで醸造した。2024年からプファルツ北部のヘアクスハイム・アム・ベルクHerxheim am Bergのシューマッハー醸造所Weingut Schumacherのブドウ畑5haと醸造設備を20年契約で賃貸して、主にシュペートブルグンダーとゼクトを栽培・醸造する。

◎ Cidre pét-nat シードル・ペット・ナット				
	畑 原材料：リンゴ（ワイナリーの周辺に自生するリンゴ樹の収穫） 位置：標高350m前後 土壌：黄色砂岩、石灰質	醸造	一次発酵が終わる前に瓶詰め デゴルジュマンあり	ワイナリーの周りに自生する、野生のリンゴを使い醸造。デゴルジュマンをしているが、あくまで大きな澱を取り除くのが目的で、若干の濁りはある。総生産量約800本。果汁にすると10%以下だが、洋ナシの果汁も含まれている。リンゴの古木は自生しているもので、専門家にも品種わからないものが多い。ペブリンガー、シュトラーセンアプフェル、ヤコブ・フィッシャー、ライニッツシャー・ボーネンアプフェルは判明している。
	畑 品種：リースリング 植樹：1981年頃、2009年頃 位置：南向き、東向き 土壌：黄色砂岩、貝殻石灰質 備考：無剪定栽培の区画の収穫	醸造	ステンレスタンクで1日間マセレーション ステンレスタンクで7か月間熟成 ドサーージュなし、亜硫酸無添加 瓶内熟成期間24か月に満たない場合、ヴィンテッジを記載しない	一次発酵終了後に、瓶詰めし、瓶内2次醗酵を行う。その後、30か月間の瓶内シュールリー熟成をしているが、ドサーージュもされず、スマートな味わいに仕上がっている。マグナムのみで瓶詰め。 2017VTは瓶内熟成期間20か月間で、24か月以下のためヴィンテッジを記載していない。また、2017VTはBrut NatureではなくBrutで仕上げた。
	畑 品種：リースリング 植樹：1981年頃、2009年頃 位置：南向き、東向き 土壌：黄色砂岩、貝殻石灰質 備考：無剪定栽培の区画の収穫	醸造	ステンレスタンクで1日間マセレーション ステンレスタンクで7か月間熟成 ドサーージュなし、亜硫酸無添加 瓶内熟成期間69か月	2016VTは瓶内熟成期間が69か月間と長期にわたり、VDPのゼクトの規格VDP.Sekt.Presigeが瓶内熟成期間36か月間以上としているのにならって"Presige"とつけた。

 ODINSTAL 120 N.N. RIESLING	○Riesling 120 N.N. リースリング 120 N.N.			備考	生産者の所有する畑のうち、唯一、プファルツの大半のブドウ畑がある、海拔120m付近のなだらかな傾斜の平野にある畑の収穫を使っている。プファルツらしい朴訥とした感じの果実味と、オーディンスタールらしい緻密で上品なテクスチャーで、コストパフォーマンスに優れる。
	畑	品種：リースリング 植樹：1988年 位置：標高120m、フラット、0.6ha 土壌：レス、雑色砂岩	醸造		
 ODINSTAL 350 N.N. SILVANER	○Silvaner 350 N.N. ジルヴァーナー 350N.N.			備考	畑名の由来：産地で最も標高の高い畑(海拔350m)にちなむ。
	畑	品種：ジルヴァーナー 植樹：1988年頃 位置：標高350m、南向き 土壌：コイパー（石灰含有量多い）	醸造		
 ODINSTAL 350 N.N. AUXERROIS	○Auxerrois 350 N.N. オクセロワ 350N.N.			備考	350N.N.は、海拔350mの意味（N.N.は"Normal Null"ノーマル・ゼロ）の略号）。プファルツで最も標高の高い畑。大半の畑は海拔120m前後のなだらかなスロープに広がっている。
	畑	品種：オクセロワ 植樹：2004年頃 位置：標高350m、北向き 土壌：玄武岩（火山性）	醸造		
 ODINSTAL 350 N.N. GEWÜRZTRAMINER	○Gewürztraminer 350 N.N. ゲヴェルツトラミナー 350N.N.			備考	350N.N.は、海拔350mの意味。プファルツで最も標高の高い畑。大半の畑は海拔120m前後のなだらかなスロープに広がっている。VT2022は過熟を避けるため早めに収穫し、約20%の房をステンレスタンクに加えて約7か月間マセレーション発酵し、そのまま約3か月ステンレスタンクでシュール・リー熟成。Alc. 13.5%, 残糖度0.7g/L, 酸度4.3g/L。ノンフィルターで瓶詰。
	畑	品種：ゲヴェルツトラミナー 植樹：2004年頃 位置：標高350m、北向き 土壌：玄武岩（火山性）	醸造		
 ODINSTAL 350 N.N. WEISSBURGUNDER	○Weissburgunder 350 N.N. ヴァイスブルグンダー 350N.N.			備考	350N.N.は、海拔350mの意味。プファルツで最も標高の高い畑。大半の畑は海拔120m前後のなだらかなスロープに広がっている。
	畑	品種：ヴァイスブルグンダー 植樹：2004年頃、1988年頃 位置：標高350m、南向き、北向き 土壌：雑色砂岩、玄武岩、コイパー（石灰含有量多）	醸造		
 ODINSTAL 350 N.N. RIESLING	○Riesling 350 N.N. リースリング 350N.N.			備考	畑名の由来：産地で最も標高の高い畑(海拔350m)にちなむ。
	畑	品種：リースリング 植樹：1978年、1983年頃 位置：標高300~350m、南、北、東向き 土壌：雑色砂岩、ムシエルカルク（貝殻石灰質）、玄武岩	醸造		

		○Silvaner Nakt ジルヴァーナー・ナクト			
 ODINSTAL [NAKT] SILVANER	畑	品種：ジルヴァーナー 植樹：1988年頃 位置：標高350m、南向き 土壌：コイパー（石灰含有量多） 栽培：無剪定栽培区画の収穫を含む （20%）（注：無剪定栽培は2025年 産で終了）	醸造 ・2012年～2020年産：アンフォラ （ティナハ）に全房を投入し、9か月 間マセレーション発酵・熟成（20%） していた。80%は500Lの古いトノー で醸造。 ・2021年は生産なし（ペロノスポラ にて収穫を失ったため） ・2022年産以降は木樽（500L）で醸 造。	備考	亜硫酸塩無添加で醸造。 もともと"Nature"と称していたが、 ナチュラルワインが近年増えて、表記 がワイン法的に問題があると指摘され る可能性が高まったため、2017VTか ら「裸」を意味する"Nakt"へと改名し た。
		○Riesling Nakt リースリング・ナクト			
 ODINSTAL [NAKT] RIESLING	畑	品種：リースリング 植樹：1986年頃 位置：南向き 土壌：雑色砂岩	醸造 マセレーションあり 古いトノーとアンフォラで6か月間熟 成	備考	もともと"Nature"と称していたが、 ナチュラルワインが近年増えて、表記 がワイン法的に問題があると指摘され る可能性が高まったため、2017VTか ら「裸」を意味する"Nakt"へと改名し た。
		○Riesling Muschelkalk リースリング・ムシェルカルク			
 ODINSTAL MUSCHELKALK RIESLING	畑	品種：リースリング 植樹：1996年頃 位置：東向き 土壌：ムシェルカルク（貝殻石灰質）	醸造 ステンレスタンクで一部150日間マセ レーション発酵・熟成して圧搾 その後ステンレスタンクで3か月間熟 成	備考	畑名の由来：畑の土壌（貝殻石灰質＝ ムシェルカルク）にちなむ。醸造所の 周囲にある海拔350mの斜面にある区 画。
		○Riesling Buntsandstein リースリング・ブントザントシュタイン			
 ODINSTAL BUNTSANDSTEIN RIESLING	畑	品種：リースリング 植樹：1978年、1983年頃 位置：標高300～350m、南向き 土壌：雑色砂岩	醸造 ステンレスタンクで一部150日間マセ レーション ステンレスタンクで2か月間以上熟成	備考	畑の土壌が雑色砂岩（＝ブントザント シュタイン）である。
		○Weissburgunder Basalt ヴァイスブルグンダー・バザルト			
 ODINSTAL BASALT WEISSBURGUNDER	畑	品種：ヴァイスブルグンダー 植樹：2004年 位置：標高350m、北向き 土壌：玄武岩（火山性）	醸造 約4時間マセレーション 50%ステンレスタンク、50%プファ ルツの櫛材の古樽で約9か月間醗酵、 熟成 その後ステンレスタンクに移し合計 23か月間熟成	備考	Odinstalのトップキュヴェ、「バザルト 」シリーズのひとつ。バザルトは 「玄武岩」のドイツ語。アフターにタ ンニンの緊張感を持たせるために、少 量（5～10%ほど）全房のブドウも醗 酵に加えている。
		○Riesling Basalt リースリング・バザルト			
 ODINSTAL BASALT RIESLING	畑	品種：リースリング 植樹：1983年 位置：標高330m、北向き 土壌：玄武岩（火山性）	醸造 約4時間マセレーション ステンレスタンクで約9か月間醗酵 ステンレスタンクで23か月間熟成	備考	Odinstalのトップキュヴェ、「バザルト 」シリーズのひとつ。バザルトは 「玄武岩」のドイツ語。アフターにタ ンニンの緊張感を持たせるために、少 量（5%ほど）全房のブドウも醗酵に 加えている。

	<p align="center">●Pi: not Pinot Noir パイノット・ピノ・ノワール</p>		<p>アンドレアスの醸造家としての才能を見込んで、ラシーヌが依頼してはじめたプロジェクト・ワイン。長年の友人シュテッフェン・ムグラールがバイオダイナミック農法で栽培したシュベートブルグンダーを、アンドレアスがムグラールのセラールで醸造。</p> <p>備考 円を表す記号Piは、彼らの友情の輪や、ブドウの成長サイクル、ワイン好きの集まりをイメージしている。ストラクチャーを与えるため、10%ほど全房のブドウも醗酵に加えている。全房比率は生産年によって異なり、ブドウの仕上がりに左右される。</p>					
	<p align="center">●Blütenhonig Edelkastanie ブルーテンホーニヒ・エーデルカスターニエ (栗の花のはちみつ 300g)</p>		<p>醸造家と親交のあるピオラントの認証を受けた家族経営のクラマー養蜂所(www.kramerhonig.de)が採取・瓶詰した、自然で体によい高品質な蜂蜜。</p> <p>備考</p>					
	<p align="center">●Blütenhonig Akazie ブルーテンホーニヒ・アカシア (アカシアの花のはちみつ 300g)</p>		<p>醸造家と親交のあるピオラントの認証を受けた家族経営のクラマー養蜂所(www.kramerhonig.de)が採取・瓶詰した、自然で体によい高品質な蜂蜜。</p> <p>備考</p>					
<p>畑</p>	<p>品種：ピノ・ノワール 植樹：2005年 位置：標高200m、南向き 土壌：石灰質レス・ローム</p>	<p>醸造</p> <p>ステンレスタンクで1週間マセレーション発酵しプレス 2200Lの伝統的な木樽で約9か月熟成</p>	<p>畑</p>	<p>標高350mの醸造所の周囲に広がるブドウ畑に養蜂箱を置いて採取</p>	<p>醸造</p> <p>巣を遠心分離機にかけてハチミツを取り出し、フィルターで滓などを取り除いて精製・瓶詰する</p>	<p>畑</p>	<p>標高350mの醸造所の周囲に広がるブドウ畑に養蜂箱を置いて採取</p>	<p>醸造</p> <p>巣を遠心分離機にかけてハチミツを取り出し、フィルターで滓などを取り除いて精製・瓶詰する</p>